

事業番号	16 01 20	事業改善シート (28年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	子ども安全総合対策事業			担当課	部局	警察本部	
					課・局・室	少年課	
総合5か年計画	プロジェクト			E-mail	police-shonen@pref.nagano.lg.jp		
	施策の総合的展開	4-2 県民生活の安全確保 1 犯罪のない安全な社会づくり		実施期間	S29 ~		
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針						
	施策展開						

1 事業の概要

目指す姿	将来を担う子どもの非行防止及び健全育成について、関係機関・団体及び地域と連携し、スクールサポーターのブロック運用による非行防止教室の実施のほか、いじめ問題、薬物乱用防止、ネット・スマホ対策等の予防活動(教育)に取り組み、少年警察ボランティアとも協働した子どもの安全対策、少年の規範意識の向上を推進し、県民が安全で安心して暮らせる地域社会の実現を目指す。 成果目標: 刑法犯認知件数 15,463件(H24) → 15,000件未満(H29) 学校訪問回数 4,000回(H28)	
現状(予算編成時)	○非行少年総数は5年連続で減少しているものの、人口比では、刑法犯少年は成人の約4倍、共犯率は成人の約2倍、再非行者率は約3割と高水準で推移している。 ○スマートホンの普及などによる少年に悪影響を与える情報の氾濫、児童に対する性的犯罪、いじめ問題、危険ドラッグ等の薬物乱用など、少年を取り巻く環境が大きく変化している。	

県が関与する理由	県でなければ実施不可(法令等義務)	【左記の説明、根拠法令等】 警察法、警察官職務執行法、少年法、児童福祉法、児童買春・ポルノ禁止法、風営法、出会い系サイト規制法、未成年者喫煙禁止法、少年警察活動規則 他
	県民との協働による実施: 実施は困難	

成果目標・事業内容	① 成果目標(H28)					
	○刑法犯認知件数 H29年 15,000件未満 (設定理由: 県下の治安情勢は、刑法犯認知件数が減少しているものの、県民が不安を感じる犯罪は後を絶たないため、H24の数値以下を目指す。)					
	○学校訪問回数 H28年 4,000回					
	② 事業内容 (単位:千円)					
		項目	実施方法	H28事業実績		
				H28 (当初)	H28 (決算)	H29 (当初)
		1. スクールサポーター運用経費	直接	18,182	17,697	19,213
	2. 少年警察ボランティア等運用経費	直接	4,371	4,563	4,420	
	3. 子ども緊急通報装置経費	直接	0	0	0	
	4. 子ども安全対策活動	直接	1,806	1,521	1,728	
	5. 子どもの保護・捜査活動経費	直接	739	749	437	
	6. 少年の立ち直り支援活動	直接	202	135	183	
		合計	25,300	24,665	25,981	

事業コスト	区分(単位:千円)	27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況						
	前年度繰越				項目	H26末	H27末	H28		H29 目標	
	当初予算	25,801	25,300	25,981				目標	成果		達成状況
	補正予算				刑法犯認知件数	13,206件	11,502件	15,000件未満	10,664件	達成	15,000件未満
	合計(A)	25,801	25,300	25,981	学校訪問回数	2,959回	4,019回	4,000回	4,443回	達成	4,000回
	一般財源	22,667	22,387	23,100							
	県債										
	国庫支出金	3,058	2,835	2,817							
	その他	76	78	64							
	決算額(B)	24,091	24,665								
概算職員数(人)	0.01	0.01	0.01								
概算人件費	83	79	79								
概算事業費(B(A)+C)	24,174	24,744	26,060								

目標に対する成果の状況	○ 関係機関・団体及び地域と連携して各事業を展開した結果、刑法犯認知件数は減少し、目標を達成した。 ○ スクールサポーターによる学校訪問回数も増加し、関係機関との連携が図られ、目標を達成。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 少年を見守る社会気運の醸成に向け、スクールサポーターの効果的な活用、少年警察ボランティアの活動の活性化を図るとともに、規範意識の向上活動・立ち直り支援活動を積極的に実施する。 性被害を含めた子どもの犯罪被害防止に向け、福祉犯罪取締り、子ども安全対策を充実強化する。
--------------------	--